

# ⑮ 地元伝統産業継続のための従業員に 対する事業承継事例

山形商工会議所

## 事例概要 (支援企業: 有限会社O製菓、支援承継者: 有限会社O製菓従業員S氏)

有限会社O製菓は、正月時に「飴」を食べる風習である「初飴」という地元の伝統産業の一翼を担う、飴専門の老舗製造・販売業者である。二代目である経営者には後継者はおらず、将来に対する本人の健康不安から当支援センターにマッチング(M&A)を含めた事業継続を前提とした相談を寄せたものである。当支援センターは、M&Aも視野に入れながら支援活動を展開、最終的には当社従業員(営業担当従業員)とのマッチング支援を行う。事業譲渡契約段階では、専門家と連携しながら契約締結に至ったものである。

## 支援の経緯

### 【支援開始区分】

H20年9月: 県中小企業団体中央会より紹介、当支援センター職員・応援Coが当社社長と面談、支援を検討

### 【支援経過】

H20年9月: 商工会議所来訪により相談者のニーズを把握。

H20年10月: 応援Coによる課題を整理、当社に対するM&Aを含めたマッチング支援開始

H20年10月~: 専門家による経営の現状把握、事業譲渡についてのアドバイス

H21年6月: 承継者との事業譲渡契約締結

## 支援のステップ

### 【支援ステップ】

#### (STEP1) ニーズの把握

相談者は、高齢であり、かねてから健康に不安を持っていた。後継者不在でもあり、廃業による将来の年金だけでは生活に不安があり、事業譲渡による家賃等の収入を希望していた。

#### (STEP2) ニーズの整理

M&Aも視野に入れた事業承継の検討と事業承継者の検討が必要である。

#### (STEP3) 課題解決の方向性

専門家・金融機関の連携によるマッチング支援を実施。

□資産・負債を含む経営の現状分析

□事業譲渡に関してアドバイス

□相談者と専門家とのアドバイザリー契約締結をサポート

## 支援の概要

### 【応援Coの役割】

当企業に対する課題の整理、事業承継に関する情報漏洩の防止を最優先事項としつつ、専門家と連携し、マッチング候補の探索、当企業との面談を行い、マッチング支援を行った。

(第一段階) マッチング企業候補を専門家と連携して探索、当社との面談実施。(STEP1で金融機関M&A担当者との面談を実施、当社に金融機関を通じた承継者の選定も提言)

(第二段階) M&A候補先企業との契約ができなかったことを受けて、企業内の従業員に対するマッチングを模索・検討。契約実務については専門家を紹介、いわゆるCo役に徹した。

### 【他の支援者等(専門家・実務家等)の役割】

派遣した中小企業診断士: 経営の現状把握、事業譲渡(M&A)の進め方に対するアドバイス、マッチング企業紹介・面談

派遣した公認会計士: 財務内容分析、事業譲渡試算、資金及び負債の会計処理に対するアドバイス  
事業譲渡段階での事業譲渡希望事業者・事業承継者とのアドバイス契約締結

## 支援の成果・今後の見通し

### 【支援の成果】

他企業(菓子製造・販売事業者)とのマッチング支援を検討していたが、結果的に事業をよく知る企業内従業員とのマッチング(承継)が成立した。

### 【事業承継による今後の課題】

代表者交代による今後の課題として以下の点が考えられる。

- ① 代表者交代による「暖簾」の承継
- ② 商品品質保持
- ③ 基本的な売上高・付加価値高の確保



## 支援のポイント

- 当事業承継支援センターと金融機関・専門家と連携して支援を行う。
- 派遣した専門家（中小企業診断士・公認会計士）が各々の支援ステップを共有することで、スムーズな支援を行えた。
- 譲渡企業に金融機関等外部からの負債がなかったためスムーズに推進することができた。
- 公認会計士が覚書作成を提案し、譲渡経営者、承継者が合意した。
- 会社所有の土地を個人名義にすることによって前経営者が地代を受け取られる形にすることによって将来の生活設計にも配慮した。
- 事業譲渡の段階では、事業譲渡希望事業者・後継者との「アドバイス契約締結」を提案、譲渡契約を専門家に委ねた。

## 関係者の声

### （事業承継者の声）

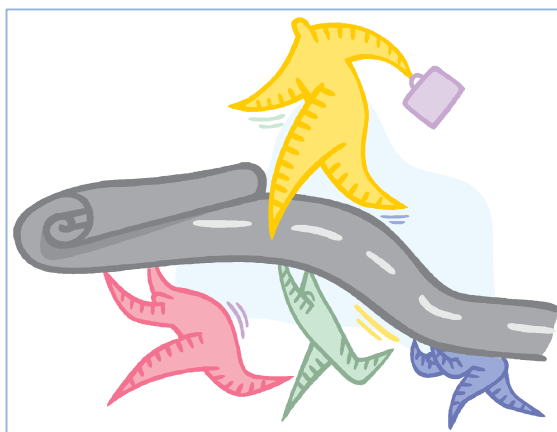
事業を譲り受けたことによって、安定した売上・粗利益確保をしていきたい。

前経営者には是非今後も経営に関するアドバイスをいただきたいと思います。

### （事業譲渡者の声）

廃業も覚悟していただけに当支援センターが後継者に対するアプローチや契約締結の仕方について親身になってアドバイスしてくれたことに深く感謝申し上げます。

承継者には今後も地元伝統産業の発展に頑張ってくださいと思います。



### （応援Coの声）

結果的に内部の従業員が後継者に決定したが、支援を行う上で、まず重視したことは外部の（事業）後継者を探すことでした。

地元金融機関のM&A部署にも再三足を運び、情報の収集に当たりました。

事業譲渡企業は、廃業も覚悟していたことから短期的な問題解決をはからなければならないと考え、社内従業員に対するアプローチを専門家と連携しながら支援活動をしました。

事業譲渡者には今後も経営管理等支援活動を継続していきたいと考えています。